

大澤 文孝

OSAWA, Fumitaka

# DataGridコントロールの カスタマイズ

## DataGridコントロールに画像やコンボボックスを表示する

### Technology Tools

- Visual Basic .NET
- Visual C# .NET
- SQL Server 2000
- Oracle 9i
- Access 2002
- ASP.NET
- Internet Information Services
- Other:
  - ADO.NET
  - MSDE

### Level



### Samples

・この記事で取り上げたソースコードおよびサンプルプログラムは、付録CD-ROMの¥DOTNET¥FEATUREディレクトリに収録しています。

#### ¥DBSAMPLE

本稿で使用しているサンプルデータベース

#### ¥SAMPLESOURCE

本稿で取り上げたサンプルプログラムの全ソース

#### ・README.TXT :

サンプルソースを使用する際の注意事項  
SQL Serverにサンプルデータベースを取り込む際は、DBSAMPLEディレクトリのデータを、MSDEを使用する場合はSAMPLESOURCEディレクトリの「SAMPLEDB.SQL」を使用してください。

### はじめに

一般にDataGridコントロールには、テキストボックスかチェックボックスのいずれかしか表示することができません。しかしDataGridColumnStyleクラスを派生させたサブクラスを作成すると、任意の要素を表示できるようになります。

本稿では、DataGridコントロールに、画像やコンボボックスを表示する方法を説明します。

### DataGridコントロールのスタイル

DataGridColumnStyleクラスについて説明する前に、まず、DataGridコントロールの見栄えは、どのように設定すれば良いのかを説明します。

DataGridコントロールの見栄えは以下の3つで設定します。

- ・ DataGridコントロール自身のプロパティ

- ・ DataGridTableStyle オブジェクト
- ・ DataGridColumnStyle オブジェクト

### DataGridコントロール自身のプロパティ

DataGridコントロール自身のプロパティ (表1) では、キャプション、列ヘッダ、行ヘッダの表示の有無や色、そして全体の動作を設定します。表1の内容と、DataGridコントロールの各部位との関係は図1のとおりです。

図1は、親子関係を持つテーブルをデータバインディングしたときのものです。単一のテーブルをデータバインディングしたときには、親テーブルや子テーブルの表示はありません。

表1のプロパティは、次に説明するDataGridTableStyleオブジェクトやDataGridColumnStyleオブジェクトのプロパティで上書き設定されます。

すなわち、DataGrid自身のプロパティは、DataGridTableStyleオブジェクトやDataGridColumnStyleオブジェクトが設定されていないときの、デフォルトの見栄えを設定するものであると言えます。

## DataGridTableStyle オブジェクト

DataGridコントロール自身のプロパティでは、全体の外観を変更できても、個々の列に対する設定ができません。設定をする場合には、DataGridTableStyleオブジェクトを作り、TableStylesプロパティに割り当てます。

TableStylesプロパティは、コレクションになっており、Visual Studio .NETでTableStylesプロパティを開くと、「DataGridTableStyleコレクションエディタ」が起動します(図2)。

DataGridTableStyleコレクションエディタでは、まず、「追加」ボタンを押して、DataGridTableStyleオブジェクトをひとつ追加します。

このDataGridTableStyleオブジェクトが、ひとつのテーブルのレイアウトに相当します。

DataGridTableStyleオブジェクトでは、MappingNameプロパティで、テーブル名を設定します。ここで指定する

表1: DataGridコントロールの主なプロパティ (抜粋)

プロパティ	意味
AllowNavigation	親から子へ、子から親へとたどる操作を許すかどうか
AllowSorting	列ヘッダをクリックして並べ替えができるかどうか
AlternatingBackColor	奇数行の背景色
BackgroundColor	行の背景色
CaptionBackColor	キャプションの背景色
CaptionForeColor	キャプションの前景色
CaptionText	キャプションに表示する文字
CaptionVisible	キャプションを表示するか否か
ColumnHeadersVisible	列ヘッダを表示するか否か
GridLineColor	グリッド線の色
GridLineStyle	グリッド線の種類
HeaderBackColor	ヘッダ (行ヘッダ/列ヘッダとも) の背景色
HeaderForeColor	ヘッダ (行ヘッダ/列ヘッダとも) の前景色
LinkColor	子テーブルへのリンクの文字色
ParentRowsBackColor	子テーブルを表示しているときに表示される、親の行の背景色
ParentRowsForeColor	子テーブルを表示しているときに表示される、親の行の前景色
ParentRowsLabelStyle	子テーブルを表示しているときに表示される、親ラベルの形式
ParentRowsVisible	子テーブルを表示しているときに、親の行を表示するか否か
PreferredColumnWidth	デフォルトの列幅
PreferredRowHeight	デフォルトの行の高さ
ReadOnly	読み取り専用かどうか
RowHeadersVisible	行ヘッダを表示するか否か
RowHeaderWidth	行ヘッダの幅
SelectionBackColor	選択されている項目の背景色
SelectionForeColor	選択されている項目の前景色
TableStyles	DataGridTableStyleオブジェクトのコレクション

図1: DataGridコントロールの各部位

